

消防だより

火の用心

Tokamachi Fire Department

No.96



令和元年7月5日

特集

防火意識を高める

まずはあなたの防火診断をしてみましょう。
「はい・いいえ」にチェックしてみてください。

質問⑦

燃料の保管容器は専用の
認定品を使用している

はい・いいえ

質問⑧

ダンボールや古新聞など
を家の周りに置かない

はい・いいえ

質問⑨

消火器の使い方を知っている

はい・いいえ

質問⑩

住宅用火災警報器を
設置し維持している

はい・いいえ

質問⑪

この地域で一番多い
出火原因を知っている

はい・いいえ

質問⑫

自分の家が火事になったら
という危機感を持っている

はい・いいえ

質問①

洗濯物をストーブ
の近くで干さない

はい・いいえ

質問②

畑などで火を起こさない
(ゴミの焼却、たき火など)

はい・いいえ

質問③

コンセント部分に
ほこりが溜まっていない

はい・いいえ

質問④

コンロの周りに燃え
やすいものはない

はい・いいえ

質問⑤

寝たばこはしない

はい・いいえ

質問⑥

子供の手が届くところに
ライターやマッチを置かない

はい・いいえ



診断書

診断結果



「はい」が10個以上



「はい」が9〜7個



「はい」が6個以下

防火意識が高いです。今後も引き続き火の用心をお願いします。

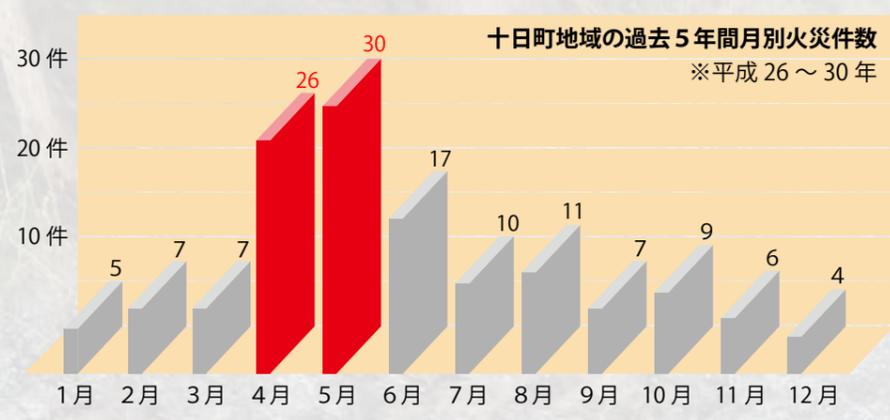
防火意識をお持ちですが、ほんの少しの油断が火災につながりますので、火の用心をお願いします。

身近で火災が起きてしまうかもしれません。防火意識を高め、火の用心をお願いします。

※質問①～⑥：これらは少しの気の緩みで火災に発展してしまいます。質問⑦：例えば、ガソリンを灯油用ポリ容器で保管していると、変形し、漏れ出す恐れがあります。質問⑧：家の周りに燃えやすいものを置くのは避けましょう。放火対策にもなります。質問⑨⑩：いざという時のため、取扱い方法を知っておきましょう。住宅用火災警報器は10年を目安に取り換えましょう。質問⑪⑫：畑でゴミなどを燃やす「たき火」が一番です。常に防火意識を持ちましょう。

1日に104件の火災が発生している！
 平成30年中の全国で発生した火災は3万7900件で、これは1日に104件、14分に1件の火災が発生していることとなります。また、火災により1422人の方が亡くなりました。

4月と5月で火災が14件！
 4月に入り、学校や会社などで新体制がスタートしました。そんな中、十日町地域（十日町市、津南町）では、今年の4月、5月で火災が14件も発生しました。中でも、大型連休中は4件の火災が発生し、火災により負傷された方もいます。また、火災原因で一番多かったものは、畑などでたき火をして燃え広がったというケースです。



グラフのとおり、十日町地域は、4月と5月に火災が多く発生しています。過去のデータではつきりしています。4月と5月の合計は56件で、このうち「たき火」などが出火原因のものは約6割です。たき火による火災は、気候や風速によっては大火災になる恐れがありますので、非常に危険です。

特集 防火意識

近年の火災傾向を知り、防火意識を高めましょう。防火の第一歩は、自分自身の意識改革からです。

を高める↑↑↑

出火原因を知る！
 年々変動のある火災件数に比べ、出火原因はあまり変化がありません。全国の出火原因として、たばこ、放火は毎年上位となり、一方、十日町地域はたき火が近年1位となっています。

たばこ
 全国の出火原因上位

たき火
 十日町地域の出火原因上位



防火意識を高める！
 火災を起こさないために必要なのは、それは表紙のチェック項目について気を付けることではありませんが、まず自分自身の防火意識を高めることです。火災を起こしてしまっただけでは、「自分はたぶん大丈夫だろう」という意識の甘さが要因です。「たぶん大丈夫」を無くし、「絶対に火災を起こさない」という意識を常に持つように日ごろから防火意識を習慣づけましょう。



防火意識が火災に勝つ！

上のたばこライターをこまめに点検し、小さな火の苗を消すことが、火災の防止につながります。大切な財産を無にしないでください。過去に、十日町地域ではたき火がそのまま拡大し、死者も出ています。「私は火災なんて起こすわけない」という考えでは、起こした時に後悔の念しか残りません。消防の職務は、火災予防というものが大前提であり、広報紙や消防車両、ホームページなどの広報活動で防火意識の向上を図っています。住民の皆さんには今後とも防火意識を高めていただき、大切な財産や命を失うなど、最悪な事態を起こさないよう、いつでも火の用心の意識を持ち続けていただきたいと思います。皆さんの正しい防火意識が火災に勝つことにつながります。



消防本部からのお願い

緊急時は、

「119番」

での

通報をお願いします。



▽命を救うダイヤル「119番」

▽指令員の聞き取りにご協力を

火災、救急、救助などで消防車・救急車が必要なときは、**119番通報**をしてください。119番を受信すると、指令員が必要なことをすばやく聞き取り、通報内容に応じて現場に最も近い消防署から消防車や救急車などを出動させます。

消防本部や最寄りの分署の一般電話に緊急通報した場合、出動する隊員が電話対応するなど出動が遅れたり、出動先の把握に時間がかかることがあります。緊急通報は「119番」にかけてください。

119番の聞き取りを行う際に、患者さんの状況や火災状況等を詳しくお聞きすることがあります。これは、救急隊が患者さんの処置や病院選定の情報とするためや、消防隊が現場活動の方針を決定するための大切な情報となります。119番通報をする場合は、落ち着いて指令員の質問にお答えいただきますようお願いいたします。また、「サイレンを鳴らさないで来てください」と時々お願いされますが、消防車・救急車は、法律によりサイレンを鳴らさないと緊急走行できません。助かる命を救うため、ご理解とご協力をお願いします。

消防士募集

(十日町地域広域事務組合職員)

Firefighters



◆募集職種・人数

消防士(上級又は初級) 3人程度

◆試験方法

【第1次試験】

期日:令和元年9月22日(日)

試験:教養試験、消防適性検査、
作文、体力試験

【第2次試験】

期日:10月中旬を予定

試験:面接試験

◆受験申込み

7月8日(月) ~ 8月23日(金)

※詳細については、ホームページをご覧ください。ご覧いただくか、消防本部又は各分署へお問い合わせください。

赤色灯

【熱中症対策(水分補給)】

毎年この時期に気を付ける「熱中症」ですが、対処法として、こまめな水分補給があげられます。しかし、それが原因で、かえって症状が悪化するケースがあることを知っておきましょう。

高温多湿の屋内外で長時間の労働やスポーツなどにより汗を大量にかくと、体内の水分とともに塩分やミネラルも奪われてしまいます。そこに水分補給だけを行うと、体内における塩分やミネラルの割合が低くなり、様々な熱中症の症状が出現することがあります。熱中症が疑われるときは、ただ水分を補給するのではなく、塩分も一緒に補給することが重要です。

熱中症対策を万全にし、楽しい夏を過ごしましょう。

【桑原光希】

自分でつくる食塩水



水 1ℓ



食塩 1~2g (ひとつまみ)

※食塩のほか、砂糖を入れることで、疲労回復にもつながります。

消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田1-4-1番地
編集 総務課企画広報係 ☎電話 025(757)0119 ☎FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-koukij.jp/ E-mail tfd119@tokamachi-koukij.jp